

【研究概要】

C型肝炎ウイルス(HCV)の複製過程を阻害する Direct Acting Antivirals (DAA) によるインターフェロンフリー治療が登場したことで、抗ウイルス治療によるウイルス排除率は画期的に向上した。しかし約 5%に治療不成功例が認められ、惹起された薬剤耐性ウイルス遺伝子変異がその後の治療を困難にしている。本研究は、全国規模でインターフェロンフリー治療不成功例を集積し、薬剤耐性の詳細な解析に基づく最適な DAA 治療選択の基準を明らかとすることで治療困難例を克服することを目的とする。